

(別記)

南幌町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、空知平野の南西部に位置し、水田面積における主食用米面積の割合が約45%となっている。転作作物では、麦・大豆の割合が多く、土地利用型農業の生産性向上を図っている。

担い手への土地の集積が進む中、労働力の不足が課題となりつつある。

主食用米の需要が減少する中で、水稲作付面積が減少傾向となっている。

そのほか、麦・大豆については、雑草、連作障害や排水不良等による収益性の低下、ほ場間・生産者間での変動が見られる状況であり是正が必要となっている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

良品米生産の徹底により産地としての地位を確保する。また、需要動向や実需の意向を踏まえた生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

今後の需要動向及び多収性品種の育種状況等を見据えた中で、直播栽培を取り入れるなど省力化等のコスト削減を図りながら、生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

イ 米粉用米

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

ウ 新市場開拓用米

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

エ WCS用稲

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

オ 加工用米

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

カ 備蓄米

生産者の作付意向を把握し、需要量に応じた生産を行う。

(3) 麦、大豆、飼料作物、てん菜、小豆、そば、なたね

秋小麦の過作・連作による病害虫の発生、収量及び品質の低下が地域の課題となっている。麦については病害の予察・予防の徹底により収益性の向上を図る。大豆、飼料作物、てん菜、小豆、そば及びなたねについては作付を推進し秋小麦作付の偏重傾向からの脱却を図る。また、省力化技術の導入を支援することにより作付面積の増加を図る。省力化技術の導入が困難な圃場や生産者については、土壌分析に基づく適切な肥培管理を実施し、収益性の向上を図る。

(4) 高収益作物（野菜等）

キャベツをはじめ、多様な作物が生産されていることから、今後においても作付面積の維持による安定的な供給により、更なる産地強化を図ると共に、担い手による作付面積の維持、品質向上を図る。

(5) 畑地化の推進

生産者の取組意向を把握し、取組への支援を実施する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	2,155.9ha	2,097.9ha	2,150.0ha
飼料用米	8.3ha	14.9ha	6.0ha
米粉用米	0ha	0ha	0ha
新市場開拓用米	0ha	0ha	0ha
WCS 用稲	0ha	0ha	0ha
加工用米	0ha	0ha	0ha
備蓄米	0ha	0ha	0ha
麦	1,637.3ha	1,641.6ha	1,475.0ha
大豆	586.8ha	613.0ha	650.0ha
飼料作物	4.4ha	11.2ha	20.0ha
そば	7.9ha	8.0ha	8.5ha
なたね	7.7ha	18.2ha	28.0ha
その他地域振興作物	525.3ha	548.9ha	576.5ha
野菜	233.9ha	234.2ha	240.4ha
小豆	50.6ha	38.8ha	45.0ha
花き・花木	2.3ha	3.4ha	3.0ha
てん菜	83.1ha	94.9ha	113.1ha
地力増進作物	155.4ha	194.5ha	175.0ha

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	現状値	目標値
1	麦	小麦病害予防予察助成	廃耕面積 作付面積 調査取組率	29年度：27ha 29年度：1,637ha 29年度：15%	32年度：12ha 32年度：1,475ha 32年度：100%
2	大豆	大豆振興助成	作付面積 単収	29年度：586.8ha 29年度：265kg/10a	32年度：650.0ha 32年度：280kg/10a
3	飼料作物	飼料作物振興助成	作付面積 取組面積（ICT） 取組面積（土壌分析）	29年度：4.4ha 29年度：0.0ha 29年度：0.0ha	32年度：20.0ha 32年度：12.0ha 32年度：8.0ha
4	そば・なたね	そば・なたね振興助成	作付面積 そば単収 なたね単収	29年度：15.6ha 29年度：87kg/10a 29年度：345kg/10a	32年度：36.5a 32年度：91kg/10a 32年度：360kg/10a
5	野菜、花き	高収益作物振興助成	作付面積	29年度：236.2ha	32年度：243.4ha
6	てん菜	てん菜振興助成	作付面積 単収	29年度：83.1ha 29年度：6,460kg/10a	32年度：113.1ha 32年度：6,500kg/10a
7	小豆	小豆振興助成	作付面積 単収	29年度：50.6ha 29年度：258kg/10a	32年度：45.0ha 32年度：265kg/10a
8	地力増進作物	輪作確立支援助成	秋小麦連作面積 作付面積	29年度：424.0ha 29年度：85.0ha	30年度：381.0ha 30年度：104.0ha
9	地力増進作物	圃場環境保全助成	作付面積	29年度：70ha	30年度：90.0ha
10	そば（二毛作）	そば作付助成 （二毛作）	作付面積	29年度：34.8ha	32年度：40.0ha
11	そば	そば作付助成 （追加配分）	作付面積 単収	29年度：7.9ha 29年度：87kg/10a	32年度：8.5ha 32年度：91kg/10a
12	なたね	なたね作付助成 （追加配分）	作付面積 単収	29年度：7.7ha 29年度：345kg/10a	32年度：28.0ha 32年度：360kg/10a
13	—	畑地化の取組 （追加配分）	取組面積	29年度：0ha	32年度：5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり